

令和4年度 授業改善推進プラン

府中市立府中第四小学校

東京都の教育目標
府中市の教育目標

【生活指導の重点】

- ・「学校いじめ防止基本方針」に則り、全校的な指導体制を充実させ、教育相談的な視点で一人一人の児童を理解し、いじめや非行等の未然防止に、いじめ対策委員会を中心として組織的に取り組む。自他の生命を尊重し、大切にしようとする態度を育てる。全学年で、学期始めに年3回いじめに関する授業を「人権教育プログラム」「SOSの出し方に関する教育」等を活用し実施する。
- ・「新しい生活様式」を基盤として、基本的な生活習慣や規範意識の定着を図り、自主的・自律的な生活態度の育成を図る。
- ・人権教育プログラムを積極的に活用し教員の人権感覚を磨くとともに、感染症に係る差別等、様々な人権課題についての理解を認識が深められるよう、児童との信頼関係に基づいた指導を推進する。
- ・人権尊重の精神を通年の「あいさつ運動」を通して行い、他を思いやる心を育てる。
- ・不登校については、早期発見・早期解決に向けて学校全体で組織的かつ具体的な対応を行うために、管理職、養護教諭等関係職員、スクールカウンセラー等による校内委員会等を設置し、保護者や関係諸機関等と連携し、当該児童及び保護者を支援していく。
- ・3年生以上の全学級で人権作文、全校で人権標語作りに取り組むことを通して、思いやりの心や自他の尊重について考える機会とする。
- ・ネット犯罪の加害や被害に巻き込まれないために知識を習得するとともに、「SNS東京ノート」の活用やeラーニング講習の実施を通して、インターネット等の適切な使用方法や情報モラルを確実に身に付ける情報教育を推進する。
- ・近隣の幼稚園及び保育園、中学校との連携を推進し、幼保・小・中連続した生活指導を行う。

【特色ある教育活動】

- ・指導と評価の一体化を進めるとともに、「各教科の特性に応じた言語能力の育成」を意識し、授業のユニバーサルデザインとICTを効果的に活用した「主体的・対話的で深い学び」を中心とした授業づくりを進める。
- ・読書ボランティアと連携を深めて読書活動や読書環境の充実を図り、児童の本の世界を広げるとともに、川柳及び短歌作り等の活動を通して、言語に関する能力を育成する。
- ・縦割り班活動（多磨っ子グループ活動）や合同行事を通して、他学年や仲よし学級との交流を深めるとともに、特別支援学校との交流を通して、相互に支え合う精神を養う。
- ・四小体操、ボール体操は本校の伝統ある体育的活動と捉えて、体育学習に位置付けて取り組む。
- ・四小の学校文化を醸成し、全校児童の憧れと誇りとなる「府中四小ハーモニーブリーズ・ジャズオーケストラ」の活動を推進する。

【特別活動】

- ・セカンドスクール等の創意を生かした望ましい集団生活を通して、すすんで実践する態度を養う。
- ・行事や児童会活動への主体的な参加を通して、望ましい人間関係を築き、集団への所属感を深めるとともに、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。
- ・クラブ活動の発足や自治的・自発的な委員会活動への参加等、児童の主体的な活動を支援し、個性を伸ばし、社会性を育てる活動の展開を図る。

【学級、学校の環境の整備・充実】

- ・季節感や児童の成長を感じる校内掲示物を工夫する。
- ・花いっぱい運動と校庭の環境美化を推進する。

【家庭・地域社会との連携】

- ・保護者との連携を深め、一緒に児童のよりよい成長を援助する。
- ・家庭学習の定着・充実に向け、保護者と協力し児童に働きかける。
- ・地域社会との関わりを深めるため、教員の「地域活動部」を設立する。
- ・家庭や地域、関係諸機関と連携したセーフティ教室を実施する。避難訓練や地域・保護者と連携した防災訓練を通して、自分の命は自分で守る意識を徹底させ、自然災害や犯罪に直面したときに、適切に対応できる児童を育てる。

【学校教育目標】

人間尊重の精神を基調に、心身ともに健康で人間性に富み、自主性と実践力のある「みずからきりひらくたまっ子」を育成する。

（児童像）

- ①たくましい子
心と身体の健康づくりにねばり強く取り組み、最後までやりとげる子供
- ②まっすぐな子
自ら学び、自ら考え、正しく判断し、表現することができる子供
- ③こころあたたかい子
互いを尊重し合い、思いやりの心と協力心をもって、よりよい集団を築こうとする子供

【経営の方針】

- 学習指導要領の主旨を的確に捉えて、全教職員の創意と工夫のもとに、学校の教育目標の具現化を目指す。人権尊重の精神に則り児童一人一人の個性や能力を生かし、自主性と創造性に富んだ児童の育成を目指す。
- ・「新しい生活様式」を基盤として、健康・安全教育の充実を目指し、児童の生命・安全に対する意識を高め心身共に健全な児童の育成を図る。
- ・問題解決及び課題解決的な学習を通して、学ぶ喜びや励み楽しさを実感させるとともに、学問に対する謙虚さを身に付けさせ、自ら考え判断し主体的に学ぶことができるように支援する。
- ・「読解力の強化」「言語活動の充実」「読書の習慣化」等を通して、学習の基礎的、基本的な知識・技能の定着を図るとともに、思考力・判断力・表現力等の一層の伸長を図り、学ぶ習慣を身に付けさせる。
- ・学級経営を基盤とし、児童理解を深め豊かな人間関係を育むとともに、自然や人との心がふれあう体験（セカンドスクール、多磨っ子グループ活動等）を通して、生命や人権を尊重する実践的態度を育てる。

【中間目標と方策】

- 国語・算数における基礎・基本の力を高め、その定着を図る。
- 習熟度別少人数指導や複数体制の指導の充実を図り、個々の学力の向上を図る。
- 体育的活動の日常化と、健康教育の推進、総合的な学習の時間を中心に食育を推進する。
- 学校と家庭における望ましい学習・生活習慣の定着を図る。
- 地域との連携を深めるために、地域の施設や地域の人材を生かした授業実践を推進する。

【本校の授業改善に向けた取組の視点とその具体策】

- ・授業におけるねらいの焦点化及び新しい生活様式に即した学習活動の精選により、効率的な学習を実現するとともに、これまでの教育実践とICTのベストミックスを図ることによる「主体的・対話的で深い学び」を中心とした授業の実現を図る。
- ・学力調査を基に自校の「強み」と「弱み」を分析し年間指導計画や授業改善推進プランを活用し、問題解決的・体験的な学習活動、言語活動を充実させ、基礎・基本の定着を図るとともに知識・技能の活用能力の向上を図る。
- ・学習指導要領の内容が確実に定着するよう指導と評価の一体化を図るとともに、妥当性及び信頼性のある適正な評価ができるように校内で共有化を図るとともに、評価規準や評価方法を地域や保護者に積極的に発信していく。
- ・東京ベーシックドリル、府中市eライブラリアドバンス等の学習コンテンツの活用やモジュールの時間や家庭学習と連携した計画的な反復練習の充実を図り、基礎学力を定着させる。
- ・読書活動の時間を設定し、児童の読書活動の推進を図る。また、各教科における探究的な活動の推進及び情報活用能力の育成を推進するために、学校図書館の活用を図る。
- ・T T指導や習熟度別少人数指導、学習指導支援員の活用、ICT機器の活用など、児童の実態に応じた多様な学習形態を取り入れ、すべての児童がよく分かる授業を目指した授業の改善を推進する。
- ・体験的な活動や地域との連携をもとに、全教育活動を通じて、環境や環境問題に関心を持ち、よりよい環境づくりに取り組もうとする態度を育成する。
- ・ESDの視点に立った学習を、各教科等をはじめとした全教育活動に計画的に位置付け、持続可能な社会づくりに関わる課題を見だし、それらを解決するための必要な能力・態度を育成する。
- ・発達段階に即して理数教科を中心にプログラミング教育を実施し、ICT機器の活用能力の習得とともに、プログラミング的思考の育成を図る。
- ・体力診断テストの結果を活用し、学校、学年、学級で運動の日常化に取り組み、家庭と連携して体力・運動能力の向上を図る。
- ・「未来へつなぐ府中2020レガシー」のテーマに基づく児童の多様な学びを、各教科等をはじめとした全教育活動に計画的に位置付け、家庭や地域等と連携を図りながら、「四小レガシー」を構築し、国際的な視野をもって世界の平和に向けて活躍できる人材の育成を図る。
- ・児童が発達の段階に応じて性に関する正しい知識を身に付けることができるよう、体育科、生活科、家庭科、理科、道徳科、総合的な学習の時間、特別活動等を相互に関連付けながら指導の充実を図る。
- ・各教科の中に、地域の文化（お祭り、お囃子等）や施設（美術館、図書館、郷土の森博物館、府中の森公園等）の学習に取り入れ、地域や日本の伝統文化を理解し、郷土を愛する心を育てる。
- ・ALT講師を活用し、話すこと・聞くことを中心に、音声や基本的な表現に慣れ親しむ活動を通して、言語や文化を体験的に理解し、外国語を用いて積極的に話そうとする素地を養う。
- ・各教科等で身に付けた資質・能力を発揮する場として、高学年で「東京都統計グラフコンクール」に取り組む。

【児童の実態】

- ・素直で明るく心やさしい児童が多い。
- ・課題に向かってまじめにこつこつ努力する児童が多い。
- ・自分の気持ちをうまく表現できない児童がいる。

【期待する児童像】

- ・自他の生命を大切にし、相手を尊重し、思いやりのある子供
- ・学ぶ意欲をもち、自主的に考え、創造性豊かな子供

【各教科】

- 国語 国語に対する関心を深め言葉を豊かにし、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語を尊重する態度を育てる。
- 社会 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。
- 算数 日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てるとともに、算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付き、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる。
- 理科 自然に親しみ、見通しを持って観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てるとともに、自然の事物、現象についての実感を伴った理解を図り、科学的な見方や考え方を養う。
- 音楽 音楽を愛好する心情や音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。
- 図工 表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、創り出す喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。
- 家庭 日常生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能を身に付けるとともに、家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。
- 体育 適切な運動の経験と健康、安全についての理解を通じて、運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。
- 生活 具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかわりに関心を持ち、自分自身や自分の生活について考えさせる。
- 外国語 外国語による聞くこと、話すことの活動を通して、コミュニケーションの素地となる資質・能力を育てる。

【総合的な学習の時間 「多磨っ子タイム」】

- キャリア教育とコミュニケーション能力の育成を柱とし、自ら課題を見付け、自ら考え、主体的に判断して、よりよく問題を解決しようとする資質や能力の基礎を養う。
- ・キャリア教育及び持続可能な開発のための教育（ESD）と関連付けながら、探究的な見方・考え方を働かせ、自ら課題を見付け、自ら学び、考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質能力を育み、自己の生き方を考えることができる児童を育成する。
- ・ふれ合いをテーマとした学習の中に、手話、アイマスク、車椅子等の福祉体験活動や特別支援学校との交流活動を取り入れ、共生社会の一員としてのコミュニケーション能力やボランティア精神の育成を図る。
- ・地域や保護者と連携し、野菜やイネの栽培等の体験活動や、食育を中心とした健康教育を推進し、教科等との関連の中で創意工夫を生かした教育活動を充実させる。

【特別の教科 道徳】

- 自他の人格を尊重し、自分の生き方を深く見つけさせる指導を通して、道徳実践力を育成する。
- ・道徳の授業を全教育活動の要の時間として多様な指導法を推進し、自他の生命を尊重する態度、思いやりの心を育む。さらに自分の生き方を深く見つけ、道徳的価値を自覚できる指導について道徳教育推進教師を中心に推進し、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を育成する。
- ・道徳教育推進教師を中心に別業、全体計画を作成各教科等とのかわりを明らかにし教育活動の具現化を図るためのカリキュラムマネジメントを行う。
- ・道徳授業地区公開講座を開催し、家庭・地域社会と連携し、道徳性の深化・定着を図る。
- ・いじめ防止や児童の気持ちに寄り添った人権教育を推進する。